

ICT活用による観光客動態のリアルタイム調査実現に向け、「小樽雪あかりの路」で実証実験を実施

社団法人北海道観光振興機構の情報システムワーキンググループ（所在地：札幌市中央区、座長：川村秀憲）と北海道大学発ベンチャーの株式会社調和技研（所在地：札幌市北区、代表取締役：山下晃弘）は、2012年2月3日～12日に開催される小樽での冬のイベント「第14回小樽雪あかりの路」で、ICTを活用した観光客のリアルタイム動向調査の実証実験を実施致します。

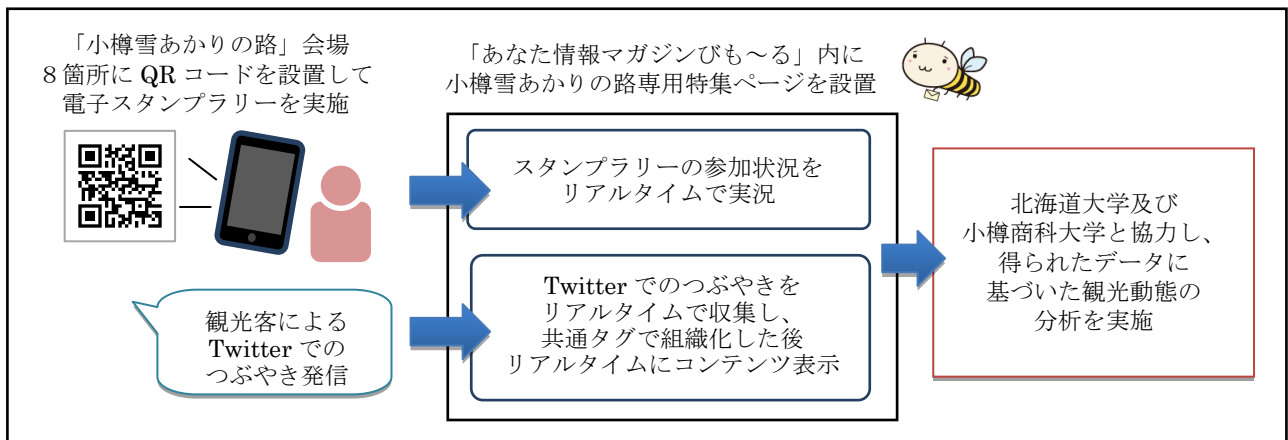
今や情報発信の形態が多様化するにつれて、北海道観光の情報発信も散逸してしまい、多量の情報に埋もれて見つけ辛くなっている状況にあります。これに対して、現在、北海道観光振興機構情報システムワーキンググループ（以下情報ワーキンググループ）では、各地の観光産業関係者や観光客自身が、Web上に発信する観光情報を組織化するための共通タグ「北海道観光情報タグ」（以下共通タグ）の制定について検討を行っており、新たな観光情報コンテンツ創出や、リアルタイム集計による観光動態の分析への応用が期待されています。

この度、北海道観光情報の組織化と、観光客動向のリアルタイム調査実現に向けた実証実験として「小樽雪あかりの路」において、情報ワーキンググループと株式会社調和技研が連携し、共通タグを活用した専用特集ページの設置と、QRコードを利用した電子スタンプラリーによる観光客動態調査の実証実験を実施致します。

今回の実証実験終了後は、北海道大学及び小樽商科大学と協力の上、得られたデータの分析を実施致します。分析に際して、北海道大学情報科学研究科 川村秀憲准教授（北海道観光振興機構 情報システムワーキンググループ座長）が中心となり、地域観光産業活性化の観点でシステムと実証実験の評価を実施すると共に、今後の取り組みに向けたノウハウとして蓄積いたします。

実証実験の実施内容

- ・「小樽雪あかりの路」8箇所にてQRコードを設置し電子スタンプラリーを実施致します。
- ・小樽雪あかりの路専用の共通タグを設定し、小樽雪あかりの路公式Twitterアカウントによる情報発信の際に付加すると共に、観光客自身がSNSやブログなどで情報発信する際の共通タグ利用を推進します。
- ・調和技研が運営するサイト「あなた情報マガジンびも〜る」内に小樽雪あかりの路特集ページを設置し、スタンプラリーの状況や共通タグが利用され発信された観光情報をリアルタイム表示します。



+++++

■あなた情報マガジンびも〜る (<http://bemall.jp>)

■本リリースに関するお問い合わせ

・社団法人北海道観光振興機構 情報システムワーキンググループ
事業計画室 山崎／広報グループ 堀口 Tel：011-231-0941

・株式会社調和技研 山下晃弘 Tel：011-717-7017 E-mail：office@chowagiken.co.jp